



男は黙ってふりかけ

暑い陽気から、秋を飛び越え一気に冬。居酒屋で見かける『春夏冬（秋なし・飽きがこない）』と書かれたポスターが現実…そんな気さえます。

いくら暑くても、動植物は気温に騙されず冬の準備をしっかりとしているようです。我が家の座敷亀も、暑かった10月頃から食事量・活動量が減り、大人しくなっておりました。暦を何で知るのが分かりません。急に寒くなっても、慌てず冬ごもりに入れるようですから自然ってすごい。

さて皆さん、年末～新年の準備はお済みですか？大掃除に年賀状のあて名書き、そしておせち作り…。そのおせち料理を作る家もめっきり減った様です。今では、早々おせちの注文をコンビニやら通販で受け付けていますよね。色とりどりで豪華絢爛。一万円を越す物も売られています。

子供の頃、おせちは嫌いだったな…。食べられるのは伊達巻、きんとん位。田作りなんかは大嫌い。固いし、尻尾(しっぽ)が口に刺さるし…。鯛の尾頭付きも嬉しくないし。でも甘い「きんとん」では御飯が進みません。毎度「のりたま」のお世話になっていました。別のおかずを求めたいのが本心でしたが、コタツでくつろぐ母にねだる訳にもいきません。おせちには、台所を預かる女性を休ませ、家族で正月を過ごす目的もある様ですから、母を働かせず黙ってフリカケで我慢した私は優しい子供だったのかな…。思い出を都合のいい様に書き換え、当時の私を褒める私であります。

1970年代『おせちもいいけどカレーもね♪』というCMが流行っていました。カレーを頬張る西城秀樹が恨(うら)めしく思いました。そこで当時の私に作って届けたいお料理。煮しめを具にしたカレーです。和ダシとカレーの相性いい上に、短時間で出来上がります(作る際はしっかり中まで加熱し、早く食べちゃって下さいね)。「美味しい、不味い？」で笑い声も上がり、明るいお正月になると思います。笑う門には福来る…ですね。

それでは皆様 よいお年をお迎えください。

管理栄養士 青山



インフルエンザ予防接種について

今年度はインフルエンザが流行しています。当院では、**接種予約**があるか、**かかりつけ**の方、または**当院でインフルエンザ予防接種を受けたことがある**方が接種できます。

1月31日まで、65歳以上の方はインフルエンザワクチンを公費補助で接種できます。是非ご利用ください。

・接種費用(税込)

浜松市在住の65歳以上 1,600円
高校生以上 4,500円

※ すべて1回接種です

詳しくは、浜松北病院Webにある「インフルエンザ予防接種」ページをご覧ください。



〒431-3113

静岡県浜松市中央区大瀬町1568

TEL (053)-435-1111

FAX (053)-433-2700

Webページはこちら(QRコード) >>

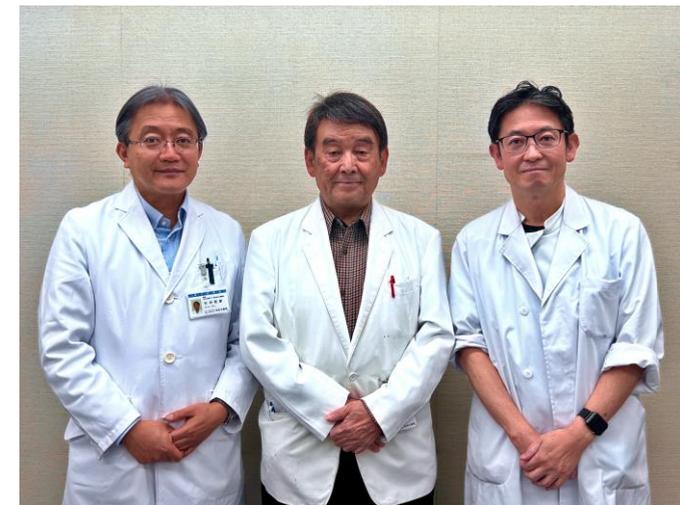


翔き

はばた



No. 72 新年号



今年もどうぞ よろしくお願いたします

医療法人社団 盛翔会

浜松北病院

基本理念

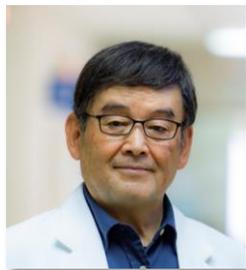
思いやりを基本とした
愛情ある医療と福祉を実現する



新年のごあいさつ

医療法人社団 盛翔会

理事長 澤田 健



新年あけましておめでとうございます。

今年度は盛翔会 浜松北病院創立40周年の記念すべき年です。これまで支えていただいた地域の皆様、そして日々精勤していただいた職員の皆様に、心より感謝申し上げます。

そして同時に、次のステージに向けた新たな旅立ちの年でもあります。

昭和58年3月、当初は一般急性期病院としてスタートした当院ですが、社会構造の変化（少子高齢化社会の進行）に対応する形で医療制度改革がなされ、一般急性期だけでなく、療養、介護、リハビリ、在宅医療まで網羅したケアミックス型病院として、地域の需要に合わせた形に変化しました。一方、建物や設備の老朽化も進行していますので、今年から本格的に、新病院に生まれ変わる計画に着手します。病院リニューアルが目指すのは、職員の皆さんへの快適な労働環境の提供であり、患者様に最適な環境で医療・介護サービスを提供することであり、そして来院される方々に最上のホスピタリティを提供することです。人件費や資材の高騰もあり厳しい状況下ではありますが、その実現に向けて総力で取り組み、今後の地域医療を支える医療機関として進化した浜松北病院を目指して参ります。

外来にみえる患者さんは20～30年継続通院されている方も多く、80歳、90歳代でも現役で活躍しておられる方が少なからずおられます。人生100年時代と言われてはいますが、肌でそれを実感しているところです。長らく当院をご利用いただいている方々のためにも、その期待を裏切らない盛翔会であること、あり続けることが、私ども職員の使命と考えます。

今年も、更に必要とされる浜松北病院を目指し、全職員で頑張りましょう。

どうぞよろしくお願い致します。

浜松北病院

院長 竹内 和彦



明けましておめでとうございます。浜松北病院がここ大瀬の地に誕生して40年が経過しました。ここまでの年月を経ることができたのも、皆様のご支援があったからこそと感謝申し上げます。

この40年間で、浜松北病院の地域での役割は社会状況の変化とともに変わってきました。人口減少と高齢化が進むわが国の社会状況の中で、医療・介護政策は大きな転換期にあり、政府主導で「地域医療構想」が進められています。

「地域医療構想」とは、将来人口推計をもとに病床数を減らし、病院の役割を「断らない病院」と「面倒見のいい病院」に分け、その連携を強化することで、

効率的な医療提供体制を実現する取組みのことです。「断らない病院」とは聖隷病院や浜松医大のような救急医療や高度医療を担う病院を指し、これらの病院には入院日数の短縮と「面倒見のいい病院」との連携の強化が課されています。

一方、浜松北病院は「面倒見のいい病院」として「断らない病院」からの患者様を受け入れ、治療とリハビリを継続しながら療養・介護方針を整える役割を担っています。「断らない病院」ではできない丁寧な退院支援こそが浜松北病院に託された使命であると考えています。

浜松北病院が「面倒見のいい病院」として、地域医療にとってなくてはならない病院であり続けるために、今後も外来では専門に特化した質の高い診療を、入院では医療だけでなく患者様の価値観や生き方に沿った診療・ケア・リハビリを提供し、患者様に優しい病院となるよう努めて参ります。

本年もよろしくお願い致します。

